

2010年度

科目名	ゼミナールⅡ			
担当教員	尾川 信之			
配当	人社4		コード	80861
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数 4
授業テーマ	社会科学研究に挑戦する。			
目的と概要	<p>卒業研究を通して社会科学研究のプロセスを学びます。 12月15日を卒業論文の完成日とします。まず、そこに向けての研究計画を作成し、各自の研究を展開して行きます。この12月15日の納期は厳守です。納期ギリギリや納期に遅れることは、社会人としては許されません。卒業研究では、単に卒業論文を作成するのみではなく、社会人として必要な仕事の進め方や姿勢をも身につけます。すなわち、時間管理と段取り力などです。 前期は学生一同会しての指導、後期は個別指導とします。</p>			
成績評価法	<p>次の点から評価をします。 1.自主性、2.思考力、3.行動力、4.誠実さ、5.卒業論文の完成度、6.各作業の納期(特に重視します)</p>			
テキスト				
参考書	各自の研究テーマが決まりましたら、紹介します。			
履修に当たっての注意・助言	<p>卒業研究は学生自身が主体的に取り組むものです。 卒業論文の執筆は調査・分析が終了してから作成に入るではありません。調査と並行して執筆できる箇所(緒言、研究方法など)は執筆をしていきます。仕事の効率や生産性を上げる仕事術も修得してください。</p>			
講義計画				
<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会科学研究のプロセス、作業工程表の作成 2～3. 研究テーマの決定 4～6. 先行研究の発表 7. 緒言の作成 7. 調査方法の決定、研究計画書の作成 8. 研究方法の作成 9～15. 調査状況の報告 <p>【後期】 個別指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 16～18. 調査結果の分析 19～20. 調査結果の作成 21～24. 考察・参考論文の作成 25. 卒業論文の完成 26～30. 卒業論文の発表、卒業研究の振り返り 				